

2004年2・3月 合併号

Enfanter ● No.294

あんふぁんて

Enfanterとはフランス語で

①子を産む ②(計画などを)考え出す ③(作品などを)創り出す、の意



詩 安原
イラスト 安原
・塩谷

子どもの私：あーあ！なんで、私の親って…

世間 …「おや、おや、親のくせに？」

疑問 …良い親、悪い親。理想の親って？

親の私 …良い母、賢い母、立派な母…あー重たい！

天の声 …でもね、子どもは親を選べないんだよ。

ダメな親の方が良いかもよ！

「親は無くとも子は育つ」



【特集】

親と子の人間関係について

p2

・ビデオコーナー

p10

・ひとことコーナー

p11

・あんふぁんてからあんふぁんてへ

p12

・情報コーナー

p15

特集

親子の

人間関係について

家庭科の教科書の中に「生まれた家族、と生む家族」という言葉が出てきます。子どもの立場から言うと、生まれてみたらこんな親親子だからといって、必ず理解し合えるものではないと、とこころが世の中の多くの人は、「親子はこうあるべき」とみないイメージに自分の親や子どもが当てはまらない事で悩んでいるのではないかと思います。いったいどうして、理想・幻想の親子像を描いてしまっているのでしょうか？

そこで、みんなが日常生活の中で親子関係について感じている事を聞いてみたいと思いいつ月号で原稿を募集、今回はそれに応じてくれた人たちに書いてもらった会員の声をまとめました。親が元気な間には気がつかない事子どもが育って気づく事、第三者だからわかる事、年代によって感じることも様々です。というわけで、この特集を読んで感じた事や、あなたの親子関係について感じる事も聞かせてもらえると嬉しいですよ。

(担当 角谷・塩谷)

第一部
自分が親になってみて

もっと愛を

子どもの頃、欲しかったのは両親の愛。良い子だったら、成績が良かったらという条件付きの愛ではなく、細かいことには口出ししないが、いざというときには適切なアドバイスをくれる。そんな親だったらどんなに良かったろう。妹に比べ、何でも出来の悪い姉というのが私のポジション。「成績も悪いし、農家の嫁にでもやろうか」という思いつきの暴言。(小学生の頃) 欠乏感から、私は、きょうだいの中でも、特に母の歡心を買おうと必死だった。

結婚後十年たち、離れて住んでわかったこと。両親は耐え難い俗物である。プロトタイプな物の見方(男の価値は出世。フリーターなんてどうしようもない等)を一方的に押しつけて来て、それ以外の価値は一切認めない武士の情けで両親のひどさを指摘せずにいるのに、私に対しては生活態度のあれこれまで際限のない要求をしてくる。しかも長女だからという理由で老後の面倒まで期待されている。会話をしているだけで毒されるような気がして、全く通じるものがない。私にとって本当に大事な人と物事を汚されないように、自分の心を大切にすることを第一に考えて、

さいたま市

両親と会わないようにしている。十分に愛されたという満足感がないため、我が子になかなか優しく出来ない。下の娘は自己主張が激しく、愛情の不足に苦情を申し立ててくる。というか自分が一番でないと気が済まず、公平にすると不満なのだ。五歳の娘の気迫にのまれてる私。長男は、テストはほとんど百点で、良い子で言うことないはずなのに、「さっさとしなさい。とか、気がきかないわねえ」とわざと嫌みを言って傷つけるようなことをしてしまふ。長男がべたべた甘えて来ても、なかなか満足させてやれない。自分が辛くて突き放してしまふのだ。それでも、長男は「叱る時、自分ばかりではなく、妹と公平に扱ってほしい」と私に言うことがあるので、努力だけましなのかもしれない。私としては、努力しているつもりなのに、まだ足りないという態度を取られると、怒りが爆発してしまふ。理屈ではわかっているつもりなんだけど...



「理想の親子」というけれど？

堺市 Y・T

私は母子家庭で育った。きょうだいもなく、一人っ子だったので母一人子一人という二人家族。(二才半の時に離婚)という事で世間から後ろ指さされることのないようにとの思いからか、母のしつけは本当に厳しかった。私にとって母は絶対的な存在だった。子どもの頃はそんな「コワイおかしさん」に必死でついていったような気がする。よく怒られたし、叩かれた。時には蹴られたこともあった。今で言う虐待まがいのことをされた記憶もある。「私のおかしさんって何でこんなにコワイのだろう？」とよく思ったし、友達のお母さんは優しくそうで羨ましかった。

高校生になった頃からそんな母の怖さも少しゆるやかに変わったけど、短大生になっても門限は夜六時とか、就職してからも外では一切アルコールを口にしない(職場の宴会の席などでも)など、友人たちの家にはない厳しさがあった。その甲斐あってか、私は世間で言う「いい娘さん」になり(自分で言うのも厚かましいけど)今時、珍しく一度も恋愛経験のないまま親の決めた相手と二十三才で見合い結婚した。今、母と私は同じマンションの同じ階に別々に住み、平日は、毎夕食をともにする、いわば半同居の状態。世間の人は、理想的だねと私たち親子を羨むし、私は親孝行な娘というふう映っているらしいけど、私はそんな母に息苦しさを感じ始めている。結婚して子どもを産み、自分も親になって子育てをしていく中で、今まで忘れて

いた自分自身の子どもの時代の記憶が甦ってくる。私を育ててくれた母と同じ親として対等の立場で見た時、どうしても受容できない部分があり、その反発が今のこの気持ちにつながっているようにも思える。子どもの頃は絶対正しいと思っていた母の言動にも、矛盾や理解できないことが見えてきた。私自身、今はまだ三人の子育てに奮闘する日々なので何かと言えど母を巻き込んで助けられることの方が多いけど、子どものしつけなどに結構口出しされることもあって(母自身はきっと、言いたいことの半分も言っていないつもりなんだろうけど)、それはそれでイライラするし、ストレスもたままる。それなのに母の顔色を伺っている私。三十八才の今になっても母から管理されているような気がする。

夏休みが明けてから、子ども(小六の娘)が学校に行きたくないと言いつつ、一学期半ばからクラス内で起こったいやな事をがまんとしていた。チラチラと「こんな事があったんだ」と話は聞いていた。でも娘のまんも限界に達してしまつた。二学期始業式の日もそのいやな事は聞いていたのだ。「なんで自分がこんな思いをしなくてはいけないの？」と、その時に初めて詳しい状況を話してくれた。夜になると娘はかなりイライラつき、朝は朝で「学校には行きたくない」と言つて(結局は行ったが)、なかなか着替えない。娘は「担任には話をしないで」と言うものの、そんな状態ではない。学校に行き担任(男性)と保健室の先生(女性)に話をすると、そんな状況だったのか、全然知らなかったと驚いていた。結局、ある事をきっかけに実名をあげずにクラス内で話し合いが持たれ解決に向かい、今は元気に通っている。

本音を言い合える親子関係に

匿名希望

「いい子」と言われる子は親の言う事を素直にきく子だろう。反発をしなれば親としては確かにやりやすい。しかし、親子間のコミュニケーションが取れていなければまだしも、



一方的にこうだと決めつけ、押しつけていれば、後でツケが回ってくる。今回の子どもとの件で、子どもと話す機会、時間もぐっと増えた。(主人とも会話は増えた)子どもが今、何を考えているのか、大人社会をどうとらえているのか、心の内面を少しでも聞けて良かった。私自身が自分の親とどうかかわって来たのか、自我確立の思春期はどうだったのか、自分自身を見つめる良い機会となった。本音を言い合える状態(関係)って、親子関係においても結構大事な事なんだと感じている。

私と娘の関係

とにかく「娘」に対して「イラ」ついた。行動の全てと違ってよくくらくらした。自分の子どもは自分の分身なのだから、物の見方や考え方等、全て理解するものと勘違いをしていたと思う。マイペースで感受性の強い娘は、そんな私の「イライラ」を全てキャッチし、ますます、私の感情を逆なでするような行動に出る。まったくもって、悪循環である。当時は、まだ「理想の母」で、(目標として



「親になりきれない私」
子どもは高一の息子・中三の娘・中一の息子。各々むずかしい年です。それにもまして私はというと、自分が何とか立っているのが精一杯みたいな所があって、精神安定剤をのんでます。不器用なので、同時にいくつもの事が考えられなくて、自分なりに順番を組み立てていくのがけっこう大変です。
子どもに妙な気を使ってるかもしれないなあ。おこったり、ケンカしたりすると私の方がパニックになるのでとにかく、そういう事はさけないです。私はひとりっこだ育ったので、ケンカしたことないし、親も人と争うのがいやな気性の人だったので、まともな人とぶつかった事なかったんです。一生懸命になればなるだけ子どもがはなれていくような気がします。ものすごく、孤独感を感じます。でも、私自身が多少、距離をおいての親子関係しか知らないのです。どうしたらいいのかかわらないんです。どこまで関わって、どこから放っておいたらいいのか。やりすぎるか、全然やらないか。で結局失敗する訳です。親という名前は重たいです。放りたいと思いつつ何かしら放り出せなくて。グチをこぼしたり、本音でぶつかる友人がいまません。これってどうやらかなりしんどい事だと、最近つくづく思います。そういうチャンス自分の手でつぶしてきた結果なので、いわば自業自得ですから、他の人に文句言えないんだけど、やっぱりつらいですね。SOS、誰か助けて!

親子(母・娘)三代・その一

板橋区

「愛」という名の束縛そのもの。父との不仲に、母自身の中で決着がつけられない。私が結婚するまでは「片親だと上手くゆく結婚がゆかなくなる」等、自分の「ガマン」は、あなた達のため、そう言い続け、私が結婚し、独立した後は「年金がどう、今までのがまんが水の泡」と結果的にはズルズル。幼い頃から、「お母さんは私達子どものためにガマンしているのだから、私達が幸せにしなければ」と思い続けてきた。

私と母の関係

「愛」という名の束縛そのもの。父との不仲に、母自身の中で決着がつけられない。私が結婚するまでは「片親だと上手くゆく結婚がゆかなくなる」等、自分の「ガマン」は、あなた達のため、そう言い続け、私が結婚し、独立した後は「年金がどう、今までのがまんが水の泡」と結果的にはズルズル。幼い頃から、「お母さんは私達子どものためにガマンしているのだから、私達が幸せにしなければ」と思い続けてきた。
私自身が自分の家族ももち、つれあいの関係を作りあげてゆく中で、母が、自分で自分の幸せの道を選ばなかった事に気付きました。今まで私自身が母の人生まで背負って生きていて、これからスッパリと母を突き離し生きてゆくのか?と考えるより、やはり「親に甘えて」(みとめてほしいのです。私自身の全てを!)生きてゆくのが良いのか?まだ迷っている状態です。

「愛」という名の束縛そのもの。父との不仲に、母自身の中で決着がつけられない。私が結婚するまでは「片親だと上手くゆく結婚がゆかなくなる」等、自分の「ガマン」は、あなた達のため、そう言い続け、私が結婚し、独立した後は「年金がどう、今までのがまんが水の泡」と結果的にはズルズル。幼い頃から、「お母さんは私達子どものためにガマンしているのだから、私達が幸せにしなければ」と思い続けてきた。

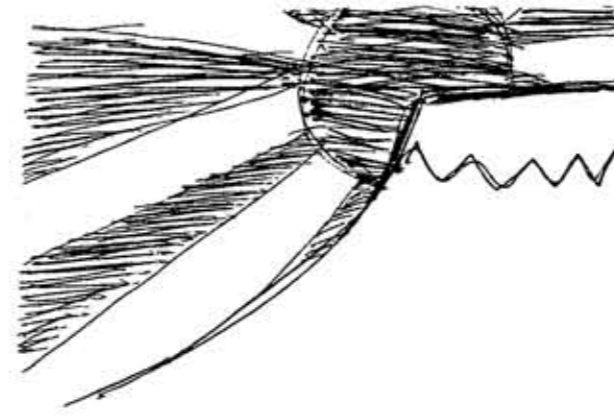
親子(母・娘)三代・その二

さいたま市

「まったく、お母さんはもう少し前向きに生きなくちゃダメよね!」これは、六十五歳の私の実母が九十三歳の彼女の母親に望むことです。??孫の私は、えー、そんな。惚けてないだけ偉い。それは酷じゃないのかな。と思います。ところが、最近になって私も母に同じような事を望んでいる事に気がつきました。

私は現在、実の両親と娘の四人暮らしです。自宅から徒歩二十分位の所に私の祖母、(母の実母)が弟夫婦と暮らしています。親子関係における理想と現実のギャップはいろいろな問題を起こします。親が子に対する「期待」、子が親に対する「期待」。よかれと思って、大きなお世話に変わることが多いように思います。私にとって理想の親は「子どもの発達段階に応じて変化できる親」です。ところが、私の母は、いい歳の私をつかまえて生活習慣についていまだに指導してくれちゃうのが困りものです。

私が娘を連れて実家に戻ってかれこれ、十年の間こんな関係が続いてきました。私は母の私に対する子ども扱いに腹をたて、母の理想に合うように私を再教育しようという力に抵抗しつつ、私も同じように彼女に、私なりの理想の母を押しつけていたのだと言う事に最近気がつきました。私が先にあきらめれば関係が変わったかも知れないと思うようになりました。母は、妹の三歳と一歳の子守に行くと感謝され、孫にも大人気です。でも同じ



「親になりきれない私」
子どもは高一の息子・中三の娘・中一の息子。各々むずかしい年です。それにもまして私はというと、自分が何とか立っているのが精一杯みたいな所があって、精神安定剤をのんでます。不器用なので、同時にいくつもの事が考えられなくて、自分なりに順番を組み立てていくのがけっこう大変です。
子どもに妙な気を使ってるかもしれないなあ。おこったり、ケンカしたりすると私の方がパニックになるのでとにかく、そういう事はさけないです。私はひとりっこだ育ったので、ケンカしたことないし、親も人と争うのがいやな気性の人だったので、まともな人とぶつかった事なかったんです。一生懸命になればなるだけ子どもがはなれていくような気がします。ものすごく、孤独感を感じます。でも、私自身が多少、距離をおいての親子関係しか知らないのです。どうしたらいいのかかわらないんです。どこまで関わって、どこから放っておいたらいいのか。やりすぎるか、全然やらないか。で結局失敗する訳です。親という名前は重たいです。放りたいと思いつつ何かしら放り出せなくて。グチをこぼしたり、本音でぶつかる友人がいまません。これってどうやらかなりしんどい事だと、最近つくづく思います。そういうチャンス自分の手でつぶしてきた結果なので、いわば自業自得ですから、他の人に文句言えないんだけど、やっぱりつらいですね。SOS、誰か助けて!

「愛しすぎる家族が壊れるとき」
信田さよ子著 岩波書店 一、六〇〇円
家族一人一人が善意の人でありながら、一緒にいることで苦しい家族、親子ゆえの支配関係にピリオドを打つためのヒントになる本。
「生まれかわる家族」
鳥山敏子著 法藏館 一、八〇〇円
「賢治の学校」主宰の著者が取り組んでいる、自分のつらい子ども時代を振り返り、心の傷を癒していくワークの紹介。実例が涙を誘う。
「毒になる親」
スーザン・フォワード著 毎日新聞社 一、六〇〇円
「大人の役を子どもに押しつける親」、「従わないと罰を与える神のような親」Etc.。親を愛し、疲れ果てている子どもに対し、このような親から自分の人生を取り戻すためのアドバイス満載。親と自分の関係を診断するチェックリストが参考になる。
「家族卒業」
速水由紀子著 紀伊國屋書店 一、六〇〇円
本当の意味での「家族」とは何か?「血縁」や「同居」等の「家の仕組み」にとらわれず、個人の幸せを追求するには?様々な例をもとにこれからの家族のあり方を考える。

「家族はあぶない」 調布市

ドメスティック・バイオレンス(DV)や児童・老人虐待といったショッキングな事件を持ち出すまでもなく、家族という集団は一步バランスが崩れるとあぶないと感じている。多分、一番の原因は、社会全体が家庭に対する幻想を根強く持ち、個人も知らない内にしつかりと、家族に対する幻想や期待を抱いて向き合っているからだと思う。妻と夫の間でも理解し合うことは難しいと感じることがないだろうか。一緒にしあわせな家庭を作りたいと思いつながら、ぶつかり合ってしまう。夫婦って他人だよなという思いを強くする。じゃあ、十月十日、私の体の中で一緒に過ごして、血を分けた子どもとの間なら、理解し合えるものかという、理解し合えるところか子どもに振り回されたり、親に振り回されたりと、一方的な関係が多くではないだろうか。それは、私達一人一人の中の思いこみ(自分のことは棚にあげて、相手に対してのみ)というふうであってほしい、こういう子どもであってほしい、こういう家庭を作りたいという大なる思いこみと、「期待という生やさしいものではない」、こうあるべきだと決めつけてしまうようなスゴイ期待があるからではないか。

そして、その幻想からはずれると、相手を責めたり、思い通りにならないことに対する怒りで自分を不幸に思ったりしている。これは他人事ではなく、私の実感です。よく心理学やカウンセリングで「ありのま

まを見つめよう、受けとろう」というメッセージを聞きます。ところが、ありのままに自分を受け入れることのできない私が、ありのまま他人を受け入れることは不可能で、必ず自分の都合の良いように相手を見てしまっています。たとえば子どもの授業参観で、なぜうちの子は他の友達のように元気良く答えたり、テキパキと動かないんだらうか。スローに動くこの子のありのままのままだと思いつつ家の中で「パッパと片づけて」といついっ口にしてしまい、「えー」とか「わかった」といつつすぐやらない子どもに怒鳴ってしまったり。小さなことのようにですが、毎日をもにその集団の中では、そのズレ(つまり、無理解と感じたり、思う通りにやらない怒りや、もちろん自分自身へのいら立ち)は、ほとんど幅を広げていきます。身近な人であるがゆえのアブナサなのだと思うのです。「期待」というコトバを「利用」と置きかえると、もっとアブナサが実感されると思っています。

それと、ママ友達の関係でも感じるのですが、その集団(家族やグループ)が、外に向かって開かれているか、閉じられているか、とても大きな分かれ目だと思います。私の知っているお母さんは、家の中で一切ウソをつかないというときめきをしたといっています。子どもなんてウソをついて「いけなさい」と思ったり、怒られたりしながら大きくなっていくと思うのに、彼女は「秘密をもつな、すべて表面に出せ」というのです。この家族はとて

わったので、もし友人なら、それって少し変じゃないとか、話し合っているといるのですが、彼女は決して友人を作らない閉じた人でした。

マインドコントロールという言葉が新興宗教や自己啓発セミナーなどの影響から、定着してきましたが、まさに身近なマインドコントロールができる場所が家庭、親と子という関係だと思えます。「その子のありのまま」どころか、親にとって、理想とする子ども像やこうしたほうがいいと思いついて、子どもの状態を見ることができないなど、アブナイアブナイ。家庭や親自身がひらかれていけば、ちょっとアドバイスやメッセージをくれる人が近所や身近にいる可能性があるのに、DVや虐待のある家は決して開かれていない。子ども自身もその中で育つと、しゃべってはいけないと思いついて、しゃべってはいけない経験や勉強してきた中からも、声を大に

ような対応が私や娘にとっては迷惑なのが理解できないところが問題なのです。相手を親でも、そうそう性格は変えられないですよ。逆に私は「思春期向き」の親だと自覚しています。世話をやくのは苦手ですが、いっしょに遊んだり、相談にのるのは得意です。だから娘が小さい頃は私に不満をたくさん持っていたと思います。そんな訳で娘にはお母さんみたいなおばあちゃんとお姉さんみたいなお母さんが居るような感じになっていました。娘も私も母をけむたがりつつも頼りにしているのだと思います。娘は高校二年生の頃、私に期待しなくなりました。それまでは、「普通のお母さん」になって頼まれては、「普通の人になるに従い私の生きかたが理解できるようになったのだと思います。高校三年の進路を選択する時期に亡くなった夫と私の関係や結婚した理由などの話をした事も良かったと思います。その時に彼女なりに、いままでも私に対して抱いていた不満や不安も話してくれました。子どもが自分の気持ちや、親が理解できるように、伝える事は難しいですね。親に聞く余裕がないと、子どもの未熟な表現力では誤解されて真意が伝わらないことが多いのだと思います。

九十三歳の母(私の祖母)と六十五歳の娘(母)、六十五歳の母と四十二歳の娘(私)、四十二歳の母と二十歳の娘という組合せの中でちょうど真ん中の私は親になったり、子どもになったり忙しいのです。そんな日常のなかで、親は子どもが大人になっても子どもの生活に必要な以上の干渉をしたり、また、子ど

もは親が高齢になっていても、昔の元氣だった親を忘れられず「老」を受け入れられなかったりしているのが親子関係を難しくしているな一と思えます。なかなか難しい事ですが、あまり「親子」という事にこだわらないで、まず相手をよくみてつきあうことが「親子」関係をラクに楽しくするのではないかと思うようにしています。

★

〈保育士の立場から一言〉

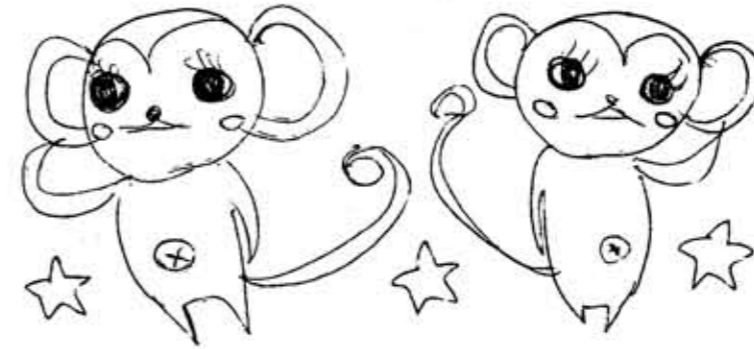
祖父母による愛と支配 東京都 R・S

保育園に勤めています。そこで、「自分達が孫のためにどれだけ教育をしてきたか」を朗々と語るおばあさまと出逢いました。孫にまで支配(愛?)の手をゆるめない祖母の姿が感じられます。アダルト・チルドレンの問題が語られ、悲鳴の上がる昨今。ほかに、「孫を預けている祖父母がキレイ好きで、赤ちゃんなのに緊張を強いられる」「一度は保育園に預けたものの、祖父母が手元で育てたいと退園させた」などの事例があります。様々な祖父母の姿を見ることで、その「縛りのキツさ」を実感させられるこの頃です。

外からみた親子 文京区

私の職場は、ある研修所付属の託児室で、両親が研修を受ける期間中、同じビルの一室でお子さんを預かるというシステムです。長くて一ヶ月程、年令は生後三ヶ月位から時には小学生まで、人数もいろいろです。(一名から十五名くらい)そこで働くようになって約九年程、沢山の親子関係を見てきました。まず、子どもって結構親に気を遣うのだなということ。勿論個人差はありますが、多分親が感じる以上に子どもは、親の望む子どもを演じてみせたり、サービスピッチを發揮したりしているような気がします。そして、親に見せている「顔」は子どもの全部ではないという気がします。よく、「私はこの子の母親なのでこの子を一番良く知っています。」なんていう台詞を聞くことがあります。うーん、そうかなあ。案外、自分の子どもだからこそ、冷静に観えていないのではないかと思います。そして、多分子どもって親が思っているよりは、しつかりしているのかもかもしれません。「うちの子は、私のおっぱいを飲みながらじゃないと眠れないんです。」なんていう子も、スヤスヤ入眠しますし、「一人じゃなにも出来なくて」っていうお子さんも、ちゃんと出来たりします。うーん、親って何でしょうね。こう書きながら私も二十二歳にもなった一人娘に甘くて困った母親です。 あーあ。

理的に殺してしまうようなアブナイ集団なんだなあと実感し始めたのが、この十年。家族って、こわしたり捨てたりできる種類のものではないので、せめて、自分で抱え込まず外に開いていくのが第一歩と感じつつ、家族をやっています。



第二部

子どもが果立つ頃に

母の老い

小平市

先週、七十八歳のOさんと奥多摩へハイキングに行ってきた。おいしい豆腐懐石を食べて、玉堂美術館にも寄った。Oさんとはスキーや日帰りバスツアーにも一緒に行く。勤め先の高齢者デイサービスセンターで知り合ったOさんはボランティアさん。ご主人も亡くなって、子どもはいない一人住まい。どこか気が合う。何ごとにも興味を持ち、リベラルで行動的だ。ああ、私もこんな風な年寄りに(年寄りって思ったことないけど)なりた

何故そんな風になったかという、亡くなった兄と息子が重なって、よく間違えていたから。はじめは息子の世話をよくしていたし、その方が張り合いがあるだろうと思った。溺愛していた兄が亡くなった直後から、私は優しくなかなかに、とめどなく、嘆きや悲しみの世界に閉じこもるのわかっていて、一人住まいで緊張感を持たせ、頑張らせてきた。思い出話の相手なんか一切せずに、仕事が忙しいと言いつつ、放りっぱなし。それなのに息子を同居させたのは、母が乳ガンの手術をしたのがきっかけ。出張や仕事で忙しい私の代理だった。プーターコの息子の仕事みたいなもの。息子にとっても、半分は親から離れての独立気分もあって、祖母と孫の同居となつたわけだ。

隠したらしいが、それがきまり悪くて、そのまま演じてしまったのかもしれないとも思うのだ。とにかく、すっかり元にもどって、二人で外出していたら、検査をしてくれた先生に出会い、母の変貌ぶりに目を丸くしていた。何年かたって、私が北海道にスキーに行っていた時、再び息子から電話。救急車で入院したとあっては帰らねばならない。五十年以上タバコを喫っている母は、元々喘息気味。一週間ほど入院して、以降は酸素ボンベをつける生活になり、月二回の通院に。仕方なしに息子も禁煙することになったのは、隠れて息子のタバコやシケモクを探していたからに他ならない。

「ウチの息子はお買い得」その後

新座市

九十二年、「ひとりりで子育てしないで」誌上のラストページを飾った「ウチの息子達」その後。パーパートである。当時は高校生と専門学校の息子たち。現在、二十七歳と三十歳なのだが、すでに私の両親は亡くなった。〇二年春から、私と同じ団地の別棟に兄弟二人暮らし。団地の所有者は私のパートナーなので、月々、七万円余を二人で払っている。ガス・水道・電気代は免除なので、三LDKを広く使った「変形バラサイト」かなあとも思う。一応、洗濯やら、食事やら、掃除やらは自前で、私は手を出さない。平均すれば月に一度位、夕食をしがら遊びにくるっていうパターン。こちらも二人暮らしで余裕なので、若い友人に近い。話を聞いてもらうのはもっぱら、私の方。仕事の悩みやら相談事はほとんどもって来ない。精神的にはすっかり安定している。あと一年の予定で、全面的に独立する約束。離れて行って欲しくないのは、なーんと私だ。仕事と親の介護で本当にゆっくり出来なかつた思春期の穴埋めのように、私の方が息子を慕う。コレってよくない？ 自立を妨げる？ 親子でいるのも何かのエンでしょーと引っぱる私は、悪い母親？

「条件付きの親の愛」親のお気に入り「イメー」の子どもを愛する」をとっぱらったはずの私と息子達との親子関係。ん？ 同じ事を繰り返して？ ドキッ？ 先日、兄の方が曰く、「世の中、まだまだ彼女にゴハン作ってもらって男ばっかだよ。俺、少数派だよ。」一つだけ彼等の信頼を得ることがあります。二十五年間、続けている「有機農産野菜」の食生活。二十年前は五男もいなかった世の中が後からついてくる。息子達が「子育て」する姿がチラッと頭をかすめつ。 「まだ、まだ、先がみえない」これからの、親子です。

一人目と二人目の出産の心構えは、二人目の方が断然気楽。だけれど、四歳になる上の子との日常生活では、毎日が葛藤の連続。私のお腹が大きくなるにつれ、上の子の相手をしたり、遊んだり、友だちの家に一緒にいたりすることにも限度があり、つい我慢させてしまうことが多い。

そんな時「親の手助けがあったらいいのになあ」と、つい第三者の助けを借りたくなる。気持ちをおさえ、家族全体（夫と上の子）の協力の中で産後も乗り切って行こうかと思っている。そして、家族で出産を迎えることで、家族の絆を深めていけたらと願っている。

●ただ今第二子を妊娠中

小澤



★前号掲載の金子さんからの提案により誕生した新コーナーです。短くても、まとまっていなくてもかまいません。どんどんメッセージを寄せてください。

「あんふぁんて

ひとことコーナー」

●このころ思っていること

加藤

お元気ですか？ 今度「カルフル栃木」という栃木県に住んでいる障害者のお祭りのようなものがあります。私も自分のいる施設の音楽クラブの一員として歌をうたい、打楽器（タンバリン）をたたいたりします。

幸せが向うから歩いてくるなんてことは、ぜったいにありませんね。幸せになりましたから自分で努力して力をつくさなくては。それは身体に障害があってもなくても、同じことではありませんか。

下手歌
ひととはみな ひとりなれども 恋人の
ひとりくらいは いてもいいよね

「昔はよかった」とか「近ごろの若い者は」とか年寄りじみたことは言いたくありません。なにも自分から「私ババアです」なんて言わなくてもいいでしょう。まだ現役のオンナでいたい。なんて書いてしまうのは、ババアである証拠かもしれません。

「冬来たりなば、春遠からじ」という言葉が頼りです。私の身体、左手左足が痛んでいるのですが、寒くなると痛みが増します。それでホッカイロを貼り付けているのですが、先日ニュースを見て、マイケル・ジャクソンが金持ちだなんてみんな言っていました。しかし私は思います。大金をいくら積んでも、人の真心を動かすことはできません。人生、意気に感づれば、人はタダでも動きますよ。



「特集を担当して」

●夫の両親は穏やかで条件なしで子どもを愛せる人達です。でもその息子である夫の口から「いい子だったら可愛がってあげる」というお決まりの言葉を聞くととても不思議に思います。親になると自分の都合を子どもに押しつけてしまうものなのでしょうか？日常生活の中で、家族が協力しあわなければ困る部分があるけれど、娘と親の言うことをすぐ聞き、即座に実行することを子に求めるのは本当は違うのに。

子ども達がきょうだい喧嘩ばかりしている私の人生、選択を間違ったかなと思ってしまう。でも、自分のDNAを残したからこそこそ結婚&出産したので、本来は今、ここに子どもが存在しているだけで満足すべきなんじゃないかな。

(さいたま市)

●親は、ただ生きていくだけで子どもに何かしらず教えることができるのかもしれない。私の母は今も自分の親から学び続けています。同居している事もあって、まったくウザイ実母ですが、近頃偉いナードと思うことが多くなりました。私の娘は親の後ろ姿から何を学ぶのでしょうか。なんだか、そう考えると肩がこりますね！

縁あって親子。できるなら、肩肘張らずにお互い、楽しんでいきたいものです。

(さいたま市)

ビデオコーナー

「お母さんの声に耳をすませて」

みんな子育て

企画 財団法人 子ども未来財団
制作 毎日EVRシステム
制作協力 特定非営利活動法人 彩の子ネットワーク

子どもを産んだからといって、すぐに母親らしくなれるわけではありません。子どもが日々成長していく様子を見るのはわくわくしますが、夜中に抱いている赤ん坊がいつまでも泣きやまない時など、これが永遠に続くのかと恐ろしくなったりもします。

でもそんな大変な子育てでも、パートナーがしっかりと関わっていたり、悩みを話し合える仲間がいたり、いろいろな子どもと接する経験を積んだり、我が子を人に託してホッとできるひとときが得られたりすれば、大変さよりも楽しさの方を多く感じる事ができるような気がします。

そのためにはまず、自分の気持ちに気付き、それをパートナーや周囲の人に伝えることが第一歩。このビデオはそんな試みを行っている「子育てサロン」の様子を追うことで、今の子育ての現実を伝えていきます。

「子育てサロン」で自分の気持ちを語るお母さん達、よく泣きます。でも、特別に大変な人たちを集めたのではなく、悩みは私たちと同じ。些細なことだけに誰にも言えないし誰も聞いてくれない、そんな悩みの積み重ねが実はとっても重いのだとわかります。

一人一人が語るだけでなく、何人かの人の生活の様子も出てくるうえ、ナレーションで問題点をきちんと整理してくれているので、とても見やすくなっています。語ることで、そして聞くことの大切さを改めて認識しました。

主な内容は

- ◎いま、子育てしている母親の思い
- ◎夫・パートナーとの子育て
- ◎子どもを預ける
- ◎その子その子の育ちを大切に
- ◎先輩世代との子育て観のちがいが
- ◎子育て専門職や支援者の関わり方は
- ◎男と女、世代を超えて

社会のすべての人で子育てを
送料のみ自己負担すれば貸し出してくれるので、一人で見てもいいし、グループで上映会をしても、地域の「子育てサロン」や「男女平等センター」などで教材として利用してもいいでしょう。(上映会後、ビデオと上映報告を返送)

(府中市)

●私の最近の気付き

音無

四十も越え、三人の子の育児でも仕事も？一段落。無我夢中な時期を越えてみると、激しい母の影響らしく？どうしようもない、無気力で不安に弱い、自分嫌いな私がいる。

正直、自分のために生きてる感じがまるでしない。自分が自分を生きていない。雲の上を歩くみたいに、他人の人生を歩いているみたい。

母にはらはらドキドキ怯えて、人生の半分まで過ぎちゃったけど、「自分のために」をゆっくり考えられたらいい。そして相変わらず激しい母に、バリアがはれるようになってほしい。私自身をゆっくり生きていけたらいい。そんな私に私はなりたいたい。

あんふぁんてから

あんふぁんてへ

ロンドン便り

ロンドン 阿部

会報を読むだけで、特に何も活動をしな...
ままですが、帰国する予定もたないため休...
会させていただきます。その前に近況報告を...
少し。

五年前こちらに来る時に、事務局の方にイ...
ギリスのあんふぁんて会員の連絡先を教え...
いただき、九九年九月ごろ(だと思ふ)その...
方(本多さん)と一度お会いしました。それ...
以後何の連絡もしていないのですが、はつら...
つとした方だったので、多分今もお元気で活...
躍されていらっしゃるのでしょうか。

ロンドンには日本人がたくさんいて、日本...
食料店や日本食レストラン、本屋などもあり...
あまり日本と変わらないような生活をしてい...
ます。NHKのニュースを見て、朝日新聞を...
読んでいます。

ただ、個人的に変わったことといえば、日...
本にいたときは仕事をしていました。が、こ...
では何もしていないということ、子どもが...
ある程度大きくなってきて手を離れたとい...
うこともあり、自分の時間がずいぶんと取れる

ようになりまして。その時間を利用して、せ...
っかくイギリスにいるのだから英語を勉強し...
ようと、近くのカレッジの英語のクラスに行...
っています。

宿題もたくさん出るし結構ハードなんです...
が、今までよく分からなかった「英語」が少...
しずつ分かるようになってきて、楽しい経験...
をしています。もしかしら今までの人生の...
中で一番英語を勉強しているかも!!

日本と一番違う点といえば、小学校までは...
親などの大人が子どもの送り迎えをしなけれ...
ばいけないことでしょうか。十二歳ごろまで...
は子ども同士で出かけるのも、子どもだけで...
家にいることもいけない、とされているよう...
です。ですから学校への行き帰りも、学校が...
終わってから友達の家へ遊びに行くのも、親...
が(たいてい車で)連れて行きます。子ども...
だけで外で遊ぶということはありません。私...
にとってはこれが一番大変です。学校のお迎...
えの時間までには必ず戻らなければならな...
いので、出掛ける時間も限られてしまうので...
、こんな感じでのんびり楽しく暮らしていま...
すが、今のところ心配なのは、いつ帰国にな...
るかということ、その時の子どもの学校の...
ことですが、私自身はずっとここにいたいとい...
うので、私自身はそこそこいいなと思います。

六回講座の前に、世田谷区にある「羽根木...
プレーパーク」で約二十年前に初代有給プレ...
リーダーとなった天野秀昭さんという方の...
基調講演があった。常に子ども側の側につ...
た立場を貫く天野さんのお話は、たくさん感...
動的なエピソードがあった。その中で一番私...
の印象に残っているのは、遊んでいる子ども...
を見る大人の姿勢の話だった。



仲間やあんふぁんてに支えられて

八街市

預け合い保育(自主保育)から親子参加型...
にして三年目、いろんな人が「ポランの会」...
を育てて来てくれました。一二年目は要領...
もわからず、自分の子どもが小さいこともあ...
り、動けないし、会の運営のしかたもわから...
ずで四苦八苦。気力も体力も使い果たし、子...
どものために通じていることなのに、私のあせ...
りが子どもにも通じてしまうのか、我が子が会...
に全然なじんでくれないか、何のためにやっ...
ているのか、途方に暮れる毎日でした。

三年目からようやく私にも余裕ができ、他...
の皆さんもいろんな能力を発揮してくれるよ...
うになり、「ポランの会」をみんなで作って...
来ているなあと思感する今日この頃です。
そんな私もこの三月で、子どもが幼稚園に...
入園するため卒会します。最後の、心お...
きなく自主保育をしたいと思ひ、声をかけ、...
何人かの人と預け合いをしています。そして...
いつも心のささえとなっていて「あんふぁん...
て」のことを、皆に話したところです。
いつも読むだけの会員ですが、それぞれの...
テーマが、他の会員方の意見が、心にしみま...
す。

子どもをのびのび遊ばせたい!

練馬区

私の息子たち(四歳と二歳)はかなり元氣...
なやんちゃ坊主。公園では「すべり台は下...
から登らないよ。上から降りてくる子とぶつ...
かったら危ないでしょ」と何度言っただら...
う。「子どもってどうしてすべり台を下から...
登るんだらう?それが楽しいからだよね。遊...
びてそういうことだよなあ。できれば多少...
の危険は目をつぶり、思ったとおりに遊ば...
せてあげたいなあ」と思いつつも、まわりの...
お母さん方の目が気になる。

露骨に言葉で言われたことはないけれど、...
ものすごい非難と憎悪のまなざしでにらま...
れたこともある。楽しく遊びたい、ついでに...
ママ友ができたらいいなと思つて公園に来た...
ハズなのに、気づくと、文句を言われないよ...
うに常に予防線を引いて「緊張する一日のお...
仕事」みたいになっていった。子どもの遊び...
たい気持ちには二の次で、波風をたてずに過...
ごしたいという親の都合ばかりを優先してし...
まっていた。

そんな時、プレーパーク(冒険遊び場)と...
いう場所があることを知り、私の住む練馬...
区で「六回連続冒険遊び場(プレーパーク)講...
座」が行われるというので参加してみるこ...
とにした。プレーパークとは、「自分の責任...
で自由に遊ぶ」をモットーに掲げた、一切の...
禁止事項のない子どもたちのための遊び...
場のこと。講座を企画したのは、練馬区に...
プレーパークを作りたく考える地域の人...
たちの会「子どもをのびのび遊ばせたい...
会(こどカン)」だった。

六回講座の前に、世田谷区にある「羽根木...
プレーパーク」で約二十年前に初代有給プレ...
リーダーとなった天野秀昭さんという方の...
基調講演があった。常に子ども側の側につ...
た立場を貫く天野さんのお話は、たくさん感...
動的なエピソードがあった。その中で一番私...
の印象に残っているのは、遊んでいる子ども...
を見る大人の姿勢の話だった。

子どもが持つ能力が十だとして、たいてい...
の親は二か三の能力を越えたら「危ないから...
やめなさい」と注意してやめさせる、保育...
専門とする職業の方でも三か四で止めてしま...
う、私(天野さん)は八までは黙って見守...
ていられるけど、それでも九を越えたとさ...
すがにどうしようかなあと思う、とお話され...
ていた。すべり台を下から登ったとしても、上...
から降りてくる子とうまく身体をかわしあ...
い、子どももそのへんは心得たもので二人とも...
楽しくすべり台で遊べるという状況が作れる...
のだ、という。でも大人は最悪の状況を想定...
して未然にそれを防ごうと子どもの行動を制...
してしまう。私は、そうはしたくないという...
気持ちで強くなった。

六回連続講座では様々なテーマがあったけ...
れど、講座の目玉は「都立光が丘公園での一...
日プレーパーク」開催だった。何もない公園...
の中にどうい仕掛けを作るか、必要なもの...
は何かなどを話し合い、準備を重ね、当日は...
一〇〇名を越える来場者があった。穴を掘...
ってその中に水を入れつつける子、ダンボー...
ルで基地を作りそこで遊ぶのかと思つたらそ...
れで満足して他の遊びを始める子など、こ...
ちが予想もしていなかった遊びをする子も...

そんな中、大人の背丈ほどの高さの木の枝...
にはしごで登り、下にある枯葉プールに飛び...
降りる遊びが始まった。小学校低学年くらい...
の男の子が下に飛び降りられずじっと動か...
ずいた。枝はそう長くないので飛び降りられ...
るのは一人だけ。後ろにはどんだん列が...
がっていく。下で待っているお母さんが「早...
くしなさい。後ろが待っているでしょ。飛べ...
ないならはしごで降りなさい」と怒鳴っている...
男の子の中では、恐怖心と挑戦したい気持ち...
とが戦っているにちがいない。かなりの長い...
時間男の子はじっと動かずにいて、結局別...
のお母さんが手を広げて「絶対つかまえてあげ...
るからやっごらん」の一言で木から飛び降...
りた。親ならまわりの状況がどうであろうと...
子どもの気持ちに寄り添って、そして待つこ...
とが大切なのだ、信じているのだと思つた...
出来事だった。

毎日通っている整備された公園、既成の遊...
具が置いてある公園、子どもたちはここで楽...
しく遊んでいるのかなあ。確かにキレイだけ...
ど、育つ環境、遊び場としてはどうなのだ...
らうか。そう考えながら、今日も遊ぶ子ども...
の背中をみている。



再就職して

武蔵野市

昨年九月に、念願の再就職をすることができました。数えてみると七年半もブランクがあったことに驚いています。夫の転勤で盛岡で五年過ごしたのち、一昨年にまた東京に戻り、一年目は慌しく過ぎて行きました。昨年は長男が小学校入学、長女が幼稚園入園という年で、次男も断乳前だったので、一学期間は様子を見て、九月からなら出られるかと思っていました。以前勤めていた職場の人に、そんなことをアピールしていたら、ちょうどタイミングよく九月から産休に入る人が出て、私にお呼びがかかったのです。

退職してから「ハッピー、ラッキー」という気分であつたのは、一年半くらいだったでしょうか。五年ちょっとのうちに三人の子を出産して子育てしながら、いつか再就職する日を夢みて、資格をとってみたい、勉強したりしていました。

いつからか、あんふぁんてに「WE DO」というグループがあることを知り、入会して、そのぐちゃぐちゃした気持ちを毎月のレポートに書いてきました。書くことで自分を見つめたり、気持ちを整理したりすることができたのは、とてもよかったです。それに、ほかのメンバーのレポートを読むのも楽しく

て、共感したり、考えさせられたりしています。ここ数年は、再就職することを自分のテーマにしてきて、なんとか一歩を踏み出すことができました。今の仕事は三月末までなので、その後のことは未定です。

自分の仕事獲得に加え、子どもの学童保育、保育園入所など、問題はいろいろあります。週四日の仕事やちょっと軌道に乗ってきたので、ここでストップしてしまうのはもったいない。無理せず、細々とでも、今やっていることをつなげていきたい。でも、目先のことだけでなく、少し先のことも見通すなら、一歩進んで二歩下がることもあり得る。ああ、まだまだこれからです。

WE DOと私

横浜市

あんふぁんての「グループWE DO」と仕事を考える会」に入ってから五年以上になります。WE DOの宣伝をしたいという気持ちはあまりないのですが、三十代になって仕事や学校や子ども関係、夫関係以外で「よい仲間」が得られることもあるんだよね、ということをお伝えしたくてコレを書いていきます。

現在メンバーは十五人でそのうち無職組は二人(の筈)。私はその二人のうちのひとりです。入会したとき子どもは幼稚園の年長と年少で私自身はあんふぁんての事務局スタッフとして純粋な専業主婦と少し違う状態でした。

一年数ヶ月後夫が名古屋に転勤になり事務局に通う生活はなくなりましたが、WE DOに居座り続けています。月に一回「女と仕事」をいっしょにテーマに何かしら書くことが活動なのですがこれまで三回、夏に子連れでお泊り会をし、若いころさながらに徹夜でおしゃべりしました。二〇〇三年の夏にもありました。子どもどうしも段々馴染んできて、うちなどはイトコがいなくてもたまたまなのでそれに代わる経験をさせてもらっているようにも思います。関東のメンバーはコジヤレたお店で夜の大人の会をしているそうです(私はまだ未参加)。

おしゃべりの内容は、いろいろで、まあなんといいですか、女であり妻であり母であり職業人でありその他諸々丸ごとひっくり返した人間同士の話題ももろもろという感じでしょうか(もう、細かい内容のことを言いつつ数字がどれだけあっても足りないのので省略せざるを得ません)。日常はそれぞれの生活にもどるので適度な距離感があるのに、集まると濃い話をしているように思います。

しかしここに来るまで、会自体も様々なことがありましたがメンバー相互が会う中で積み重ねもありました。例えていうなら子どもが転んだりケンカしながら遊んで楽しんで愛されて成長するような感じで、グループや大人でさえも時間をかけ積み重ねの中で成長するのだから、と少し思っています。

情報コーナー

娘のことで悩んでいます

匿名希望

実は、娘の盗癖のことで悩んでいます。小さい頃は学童ルームのおもちゃを持ってきてしまいました。私の財布や封筒に入れておいたお金が減ったり、兄弟から取っていたこともありました。先日はどうも学校からの返金に手を出したようです。それを知らず私はまだ返金されていなくて、それを知らず先生に失礼なことをしてしまいました。中三でこれからも先生と会うことが多いというのに。以来、娘とは口をきいていません。

元夫(離婚している)は、施設に入れるしかないと言います。いわば病気だから環境を変えるしかない。そして、そういう決心をできない私を責めるような言い方をします。でも、私はそうしたくはありません。

その理由の一つは、私自身の生育歴です。私は赤ん坊の頃から、実の母親のいとこの所で育ちましたが、兄や姉・妹は実の親のところに行きました。最低の親だったようですが、その分子ども達は助け合っていたような気がします。私は一人だけわりと自分の思うようにさせてもらって、怒られたことはほとんどありません。でも、最近改めて兄たちとの距離を感じています。だから、娘を一人だけ兄弟から離すのは恐いんです。

元夫から「施設」と言われるたび、子どもを捨てるのではないと思っても、子どもをちゃんと育てられなかった自分のふがいなさを感じます。でも、「施設」以外に何か方法はないでしょうか?

★健康学園児童作品フェスティバル

【会場】東京都児童会館 (渋谷駅歩5分・渋谷区渋谷1の18の24)

【児童作品の展示】 3月15日(月)〜21日(日) 9時〜5時

地下1F(ただし21日は4時まで)

【講演会】講師・毛利子来(小児科医)

「子どもの体とこころの健康を考える教育」

3月15日(月) 2時〜3時 4F講堂

先着100名 入場無料

※健康学園は都内12の区が設置している全寮制小学校で、喘息や肥満などの子どもたちが近隣の自然の中で健康な体と心づくりに励んでいます。今回の参加は足立区・文京区・豊島区など7区の予定。

※主催・TOKYO区立健康学園連絡会・東京都児童会館 問合せは同連絡会事務局 井上まで

★平日あんふぁんて

千代田区ゆかりの人物展&事務局探訪

3月19日(金) 11時〜3時頃まで

あんふぁんて事務局の近くは皇居や国立劇場、英国大使館・社会科見学コースです。事務局でお弁当を食べてから、近くの区の施設で開かれている千代田区ゆかりの文化人等の写真展を見学したり、お帰りを散策しましょう。子連れ可、弁当持参。申込は前日までに。

★東京ウイメンズプラザ主催

男女平等参画リーダー講座

「再就職したい?再就職するなら!」

―女性のための実践的プログラム―

―出産・育児・介護等で離職された女性向けに、再就職のノウハウを学ぶ講座を開きます。どんなふうにならうかをカバするの?就職活動を効果的に行うにはどうしたら?家事や育児と仕事を両立させるコツは?具体的にすぐ役立つ内容です。

日時・平成16年3月1日(月) 10時〜4時

3月2日(火) 10時〜4時

会場・東京ウイメンズプラザ 第一会議室

講師・福沢恵子(東京家政大学助教授)

小島貴子(埼玉県職業能力開発センター)

―キャリアカウンセラー―他

対象・再就職を希望する女性 40名(先着順)

保育・1歳以上未就学児対象(必ず申込書に記入のこと) 受講料・2000円(資料代)

申込期間&方法・①氏名(フリガナ) ②〒番

号③住所④メールアドレス⑤電話番号⑥FAX

番号⑦保育(必要な場合、子どもの名前と年齢)⑧離職期間⑨質問を記入し、往復ハガキ、FAXまたはEメールで申し込みを。ウイメンズプラザホームページからも申込用紙をダウンロードできます。

申込&問合せ先・事業係講座担当・森田

★子育て広場「トライアル」

日時・3月3日(水) 10時〜2時(子連れの人
は15分前までに集合。終了後3時まではワ
ーク報告と保育の引き継ぎを行います)

場所・エポック10保育室・会議室(池袋駅隣)

Aコース・子どもと一緒に遊ぶ

【いろいろな親や子と接してみ、子どもと
の関わり方を再発見します】

Bコース・子どもと離れてしゃべりB A(場)

【今回は会報2・3月合併号を参考に、親と
子の関係について語り合います】

Cコース・子どもを預けてタウンワーク

【子どもと離れてリフレッシュタイム。子連
れに優しい街かどうかチェックします】

参加費・一人500円(資料代・保険料込み)

保育・子ども一人200円(定員・7名)

持ち物・保育カード、保険証、子どもの昼食
と着替え(要記名)など。

※初回はAコースから。Bコースは大人のみの
参加も歓迎。

※申込は10日前までに住所・氏名・電話番号・
子の氏名・性別・生年月日を明記し事務局へ。

〈スケジュールメモ〉

2月29日(日) 30周年相談会

(1時〜 神楽坂・幾代宅)

※右以外の予定については事務局に問合せを。

4月5日(月) 四・五月合併号発送作業

(10時半〜 事務局)

※発送作業は子連れ可です。お弁当持参で来
ませんか? 手を動かしながら楽しくお喋り
もしましょう。

事務局から

●会報が二ヶ月毎の発行になったた
め、掲載できるイベント情報の日時
が限定されてしまいます。各地の集
まり等の情報は、早めに連絡下さい。
●会報への投稿はいつでも大歓迎。
イラストや表紙の時も募集中です。
●1月末現在の会員数は258名。

◆グループや個人で通信や会報を
作っている人にお話し◆

あんふぁんてのグループリストに
載っている皆さん、それ以外でも個
人やグループで通信など出している
皆さん、どんな活動をしているか教
えてください。他の人たちの参考に
なるし、会報でも紹介したいので、
通信など発行する時には、ぜひ一冊
事務局に送ってくださいね。

●あんふぁんては、会費のみで
運営している会。会費の支払い
のまだの人は、至急振込をお願い
いたします。会費が切れても本人
からの連絡がないと、退会や休
会の措置がとれません。退会・休
会や転居等の際は、必ず事務
局まで連絡ください。

あんふぁんてホームページアドレス <http://>

事務局までの地図

☆当会について詳細を知りたい場合、封
書に〒・住所・氏名・☎を明記し、切手
四百円分(なるべく少額切手)を送って
下さい。入会希望の場合はなるべく会費
六ヶ月分(三千元)以上まとめて、郵便
局の振替口座に払い込んで下さい。

第294号 (隔月5日発行)
2004年2月5日発行
(1975年7月26日初刊発行)

あんふぁんて 2・3月合併号

発行人 /
発行所 / あんふぁんて出版部

電話 _____
(☎平日12時〜2時それ以外FAX)

定価 / 500円
振替口座 /
加入者名 / あんふぁんての会

©本誌掲載記事の無断転載を禁じます。